

第07-3号(通算102号)

発行:りんどうの里

吾妻郡高山村中山2715-2 TEL:0279-70-5100 FAX:0279-70-5101 http://www.rindo.jp

まに温地こ うに家今ず心が域利こいで族後のかいの田の げ力た で 五も

す。向よ適ご 上 ご族後 サ利様も 1 用にこ め ビい安利 て まスた心用 いのだし者 り質けて様 まのる快や

す。設のを を発深ま 申 ij まで齢と ま変いき者のすわりる福連 よらま施祉携

> さ効神スたへり流シ がとと 61 れ果安ト`とやれオヨ期っし ヨまヨ四 て、「血行促進」 - ルが血流の - ルが血流の などの緩和 の香りが の香りが した。 であると である。ま をご の香りが した。 であると てが定レヨ繋腰をネモ待りてモしモ月 い期をスモが痛良Ⅰギさ を行

たギの 風 呂 ま春



い康方う

まをが日

しも

ての

`成

孫多長

のくを

や健の祝

ま

ご栓たるた認方時施し季四指の消、。す法の設た防日 す法の設た防月 導使火消新るな避内 災 し用方火入事ど難で て方法器職が `経の 訓 練 四 頂法やを員出改路火 を日 `使に来めや災 きな 行に まど散用対まて誘発 61

た。にの 付 `べどっれつ IJ ま館ど た代物繁理にまに餅

そか、栄由柏し召が

し内も

うらとにと餅たし提 で親さ結しが。上供お 兜日五 とどすしれびて食こがさや 飾に月 り合五 れ江く「らもて をわ日 て戸縁子れの頂皆は 飾せの い時起孫る日き様柏







来クリ 期な「湿って習たや古 たぶ合は まス心し待ど肩゜血いがめっくし゜湯わ`五 しす身ょさ沢こ「行まあに健かょ」 せ端月 たる共うれ山り疲促すっ入康らう こにぶてのや労進。た浴祈っぶ 行っの季 とリ湯ま がラにす。 がラにす。 がラにす。 がラにす。 がったす。 がったす。 にす。 は、 に、れ風の」、

をて午の いし節節 まよ句風 しうに呂





し施二 た華ばだ やかわどま設十六 かりりれし内八月 たで、もた。作日二 彩 `素細 品の十 ら施敵部 展一 を週日 れ設なま 開間か ま内作で しを品こ 催~ら









た芍ん が 咲敷 き地



会ス行率医に ました。おりません。 でせ自活し際故 る身動てに現 機のを、

て救Dジ方中 し貴持力を形 とキえ先療居もた重が加しに実り急をのに之穴 なルるし従合し。なと減て心際た講使方心条月 りをよて事わも 体てとみ臓にだ習用法臓消十 ませる数をおよる 験もテまマ、き甲用法順用・
が難ンしッ専しをた、ッ分日 か難ソしつ専しをた、ッ分日出しポたサ用た実放Aサ署に来くのがIの。施救Aサ署に 維、ジ人 し命E I の





た者とにい様し勉千 いと思っていまいと思っていまいてサポート・一般強しつつ、これを持ちます。 よな八出 うがビ来 頑らりる 張利助よ り用手う

しうら遠て くな信藤入遠 お P 頼とり藤 の願いします。やTを目指したといました。理がある。なりました。理がある。ないません。のでは、一般にはない。ないました。理がある。ないました。理がある年度からのでは、一般にはいいました。理がある年度から □ まも多学ら すらく療新のきな 。 えの法卒 よる方士と ろよかのし

り添い、一生懸命頑ます。これからまます。これからまなかげで徐々に際なったがいる。 記頑張ります。 いれを感じていた職場の雰囲に職場の雰囲にでいた。 に職場の雰囲にでいる。 に職場の雰囲にでいる。 に関れるまでした。 ▫寄い気のと

学ばせて頂きたいとに、自分自身、様ポートさせていた。 用田『利用者は 様た様 はくなことない ないましょう はいまい 生活をも [□] をも リ

